

(件名)

平成 26 年度 富士山火山三県合同防災訓練 2014 の概要

(静岡県 危機管理部)

1 合同図上訓練

(1) 三県知事・関係省庁災害警戒会議による合同テレビ会議（3知事、内閣府）

噴火レベル3の発表を受けて、富士山火山の状況を把握、共有するとともに、今後の火山活動の進展に伴う対応や連携の確認等を行う。

(2) 富士山噴火対策合同会議（静岡県庁）

国・3県・市町村・関係機関の現地本部等が、協力してより効果的な火山災害対策を実施するため、関係者が火山活動状況を共有するとともに、課題への対応等について合意形成を行う。

(68 機関、約 100 名が参加)

2 住民等避難訓練（3県 26 市町村、約 2,300 人参加予定）

避難指示・避難勧告発令訓練や情報伝達訓練、避難誘導訓練、自家用車による住民避難訓練、避難行動要支援者の搬送訓練、残留者救出訓練等を実施する。

	参加市町村	参加住民
静岡県	御殿場市、裾野市、富士市、富士宮市、沼津市、三島市、 小山町、長泉町	約 1,500 人
山梨県	富士吉田市、富士河口湖町、身延町、西桂町、忍野村、 山中湖村、鳴沢村、	約 400 人
神奈川県	秦野市、南足柄市、小田原市、松田町、山北町、開成町、 箱根町、大井町、中井町、湯河原町、真鶴町	約 400 人

その他防災関係機関の参加状況については、とりまとめ中

3 視察会場（御殿場市畑岡）での訓練

(1) 御殿場市

住民避難訓練

御殿場市長による住民避難状況の上空からの確認

(2) 静岡県

火山噴火に関する啓発（パネル展示、動画放映等）

静岡県知事による上空偵察及び訓練会場視察

(3) 国交省中部地方整備局

火山噴火に関する啓発（パネル展示等）

火山泥流に対する応急対策（堆積工、導流堤の設置等）



訓練参加予定ヘリ（陸自UH-1）